

学年
通信

夢追人

令和7年4月7日
第1号
小代中学校3年生
発行者:梅谷俊平

節目を大事にする

いざ立て いざ立て 小代中学校 祝 進級

朝倉 美希 さん	荒川 凌汰 さん	上治 翔 さん
小林 花帆 さん	田野 拓馬 さん	田村 麗美 さん
中庭 海桜 さん	林本 果子 さん	藤本 湮央 さん

9名のみなさん、進級おめでとうございます。3年生に進級した今、どんな気持ちでしょうか。『よし、頑張るぞ!』と意気込む人、『ああ、もう3年生か〜』と焦る人、『進路が不安だなあ…』と悩む人など、人それぞれかなと思っています。

まだ早いわ、とツッコミを入れられるかもしれませんが、予定では、3月10日が卒業式です。数を数えると、今日を含めて**195日**学校に来ることになります。多いですか?少ないですか?私は、あっという間に過ぎていくのではないかな、と思っています。(昨年度はあっという間に過ぎていきました)だから、一日一日を大切にしてほしいと思います。

3年生としての1年は今までの2年間とは少し違います。校長先生が、いつも言われている『**自分事として考える**』ことに、『**他人や後輩、周りのことも考える**』ことがプラスされます。

いい1年間になるように、全員が主人公になって、頑張っていきましょう。

竹は成長の早い植物です。ぐんぐん上に向かって伸びていく様は、しばしば人間の成長にも例えられます。

竹は、大木などと比べると、高さの割にはとても軽く細く見えます。しかし、強風などでも滅多に折れることはなく、大きくなるほどにその強度は増していきます。このように竹は、軽さと強さを兼ね備えている植物なのです。

竹の軽さと強さの秘密は「**節目がある**」ことにあります。竹に**節目**がなく、ただの一本として伸びていたら、少しの風でもすぐに折れてしまいます。**節目**があるからこそ、強い衝撃があっても、柔らかく力を逃がすことができるのです。

「**節目がある**」ということは、竹だけではなく人間にとっても大切なことです。物事の**節目**でしっかりと立ち止まり、自分を見つめ直すことで、竹のようにしなやかな強さを得ることができます。

みなさんにとって最初の「**節目**」は『**今日**』です。そして、「**節目**」は今日だけではありません。何度も訪れる「**節目**」をきっかけに、頑張ろうという気持ちを持ってほしいと思います。



学年の先生の紹介

- 朝野 暢一 (社会)
- 梅谷 俊平 (音楽・技術)
- 西川 由季 (学校保健)
- 中村 雅彦 (数学・理科)

1年間よろしくお祈りします。
先生方の自己紹介は次回…!?

10年の節目を機に題字を新しくしました(夢追人:ゆめおひびと)

『諸君は夢を追い求め続ける旅人である』

この言葉は、私が高校生時代の学年主任の先生の口ぐせでした。授業の時や、休み時間、学年集会など、何十回、何百回と、この言葉を聞きながら高校生活を過ごしたといっても過言ではありません。

私自身、今も夢に向かって歩き続けている旅人だと思っています。ですから、この素敵な言葉を、ずっと受け継いでいきたいという思いが強くなり、今回題字にすることにしました。題字は大事です。

担任の目

小代中学校3年目を迎えました。お久しぶりです。また、戻ってきました。

みなさんにとって、一番大切な「**進路決定**」をする1年となります。1年生の時に比べ、「個別で話をする時間」が多くなると思います。まだ決まっていないこと、迷っていることなど、多くある中で話をするようになると思いますが、しっかりと、自分の意思表示ができるように、考えて、悩んで、たくさん経験を積んでください。